

島根大会のお礼

平成30年11月9日（金）に第65回中国地区小学校長会教育研究大会島根大会開催したところ、中国5県からご参加いただきましたおよそ600名の校長先生方には、これからの教育のあり方や校長像を見定めようと、本市に遠路はるばるお集まりいただきましたことに、まずもお礼を申し上げます。

出雲市は小さな町ですので、大会会場や公共交通機関に窮屈な点があり、皆様に不自由をおかけしたのではないかと案じております。

一方、そのような中におきましても、13の分科会で20名の校長先生方による提案性の高い実践報告がなされたことは、何よりの大会成果だったと感謝をいたしております。そして、司会、記録、運営などに携わってお支えいただきました方々に厚くお礼を申し上げます。おかげ様で、それぞれのグループ協議の中では、「未来に向け 地域とともに 主体的・協働的に新たな価値を創造する子供」を育てるために校長はどのように役割を果たし、いかにリーダーシップを発揮していくべきかを明らかにしようと熱心にご協議いただくことができました。

また、それぞれの現場では、すでに新学習指導要領の移行措置に取り組んでいらっしゃるわけですが、学校が取り組まなければならない課題はそれにとどまらず、次々と新たなものがスピードを増しながら現れてきます。本日の講演講師である塩田元規様からのご示唆を噛みしめながら、“未来に向けて”学校が果たすべき役割はどのようなものであるのか、“未来を生きる”子どもたちが備えておくべき能力は何なのかを問い続けていきたいと考えております。

最後になりましたが、本大会にご参加いただきました会員の皆様、開催に向けてご支援・ご協力を賜りました関係者の皆様に重ねて厚くお礼を申し上げます。そして、来年、鳥取県で開催されます第66回大会の盛会を祈念いたします。このたびは、誠にありがとうございました。

第65回中国地区小学校長会教育研究大会島根大会

実行委員長 板垣 靖

